

# 都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・2月予測）

## ～緩やかながら回復続くも消費分野が足踏み

2021年2月4日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）<sup>i</sup>を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）<sup>ii</sup>を DATASALAD にて公表している。本稿では、2021年1月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2021年2月の予測 CI を解説する。

### 2021年2月の九州7県の予測 CI：緩やかな回復続く

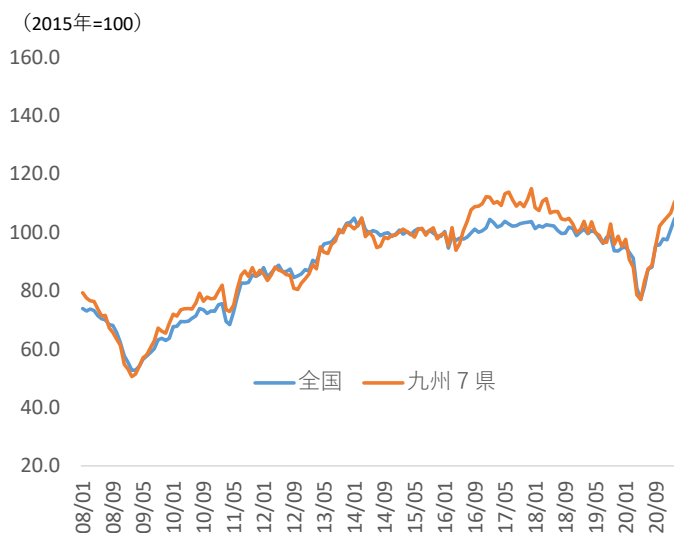
2021年2月における九州7県の予測 CI は前月比+3.7%の110.5となり、9カ月連続でプラスとなった。都道府県 CI は2020年5月を底に反転してプラスとなり、以降は改善が続いている。

なお、全国は前月比+3.8%の104.7となり、九州とほぼ同じペースで回復している。

都道府県 CI、予測 CI は、景気の水準とともに、景気の拡大・後退のスピードを把握することができる。九州の CI は、新型コロナウイルス感染拡大により、景気の水準はリーマンショックに迫る水準まで悪化したが、2021年2月もその傾向が続くとみられる。特に、2021年1月は緊急事態宣言発出により、景気的大幅な冷え込みが危惧されたが、1月の日次で把握できる指標からは大きな落ち込みはみられず、回復傾向が続いていると考えられる。

なお、2月2日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言の対象期間が2月7日までから3月7日までに延長された。本予測 CI にはその影響は含まれておらず、今後の動向を注視する必要がある。その影響の程度については、2月末までの統計とインターネット上のビッグデータを用いて2021年3月初旬に算出する予測 CI で把握できる可能性がある。

図1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州7県)



注1) 2020年11月までは実績値(都道府県CI)、2020年12月~2021年2月は予測CI

注2) 2021年2月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

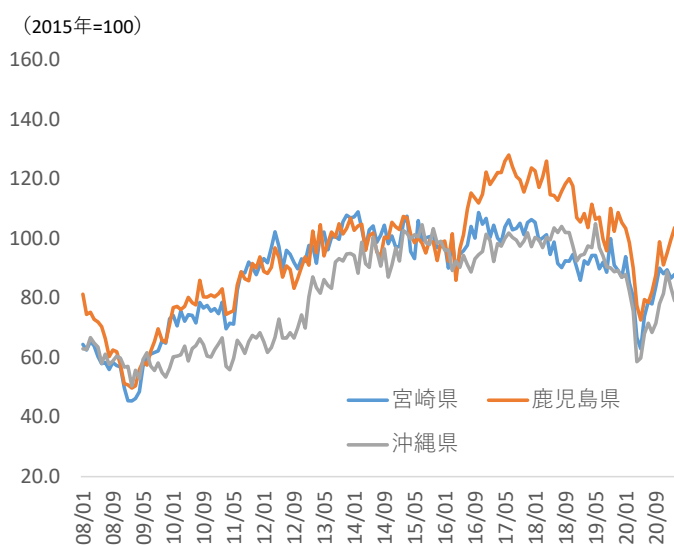
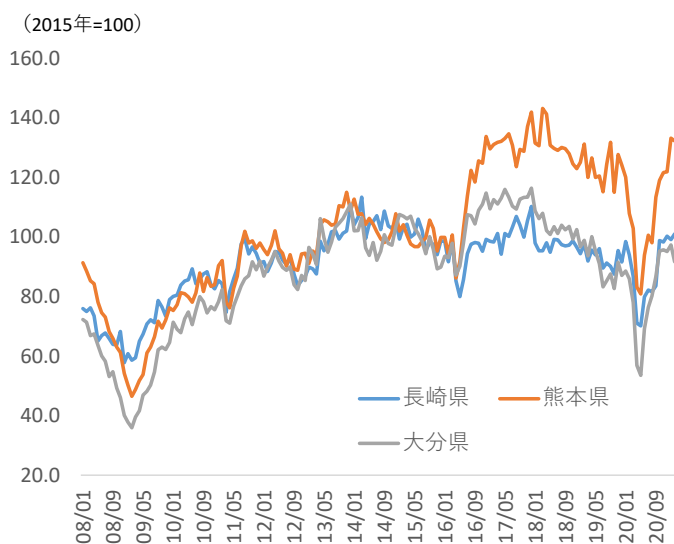
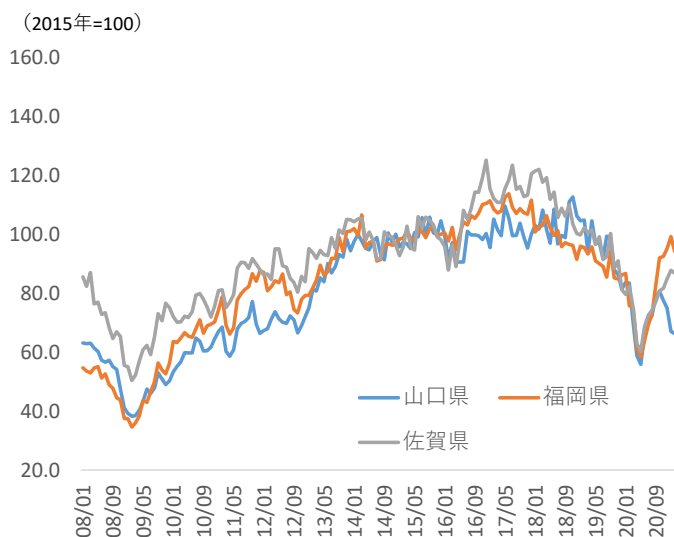
## 2021年2月の九州地域の予測CI：消費分野が停滞

2021年2月における九州地域(九州7県・沖縄県・山口県)の予測CIを県別にみると、長崎県(前月比+1.9%)、宮崎県(同+1.4%)、鹿児島県(同+4.0%)で前月比プラスとなった。長崎県は消費、雇用分野の先行系列がプラスに寄与した。宮崎県、鹿児島県は雇用分野がプラスとなっているほか、消費の落ち込みが小さい。一方、前月比マイナスとなった6県のうち、マイナス幅が大きい福岡県(同▲5.0%)、大分県(同▲5.8%)、沖縄県(同▲5.1%)は消費分野の落ち込みが大きい。緊急事態宣言による外出や旅行・出張の自粛の影響を強く受けているとみられる。また、佐賀県(同▲1.1%)は他県に比べ雇用分野のマイナスが大きく、CIが低下した。

松嶋 慶祐(事業開発部 主任研究員)

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2020年11月までは実績値(都道府県CI)、2020年12月～2021年2月は予測CI

注2) 2021年2月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI				予測CI		都道府県CI				予測CI	
	2020年 9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	2020年 9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月
全国	95.5	95.7	97.8	97.4	100.9	104.7	8.4	0.2	2.2	▲ 0.4	3.6	3.8
九州7県	95.3	102.1	103.7	105.2	106.6	110.5	7.4	7.1	1.6	1.4	1.3	3.7
山口県	78.8	80.6	77.5	75.0	67.0	66.2	8.8	2.3	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 10.6	▲ 1.2
福岡県	82.9	92.0	92.5	95.1	99.2	94.2	13.9	11.0	0.5	2.8	4.3	▲ 5.0
佐賀県	77.2	80.8	81.6	84.9	87.7	86.8	4.0	4.7	1.0	4.0	3.3	▲ 1.1
長崎県	83.6	98.8	98.3	100.3	99.1	101.0	2.5	18.2	▲ 0.5	2.0	▲ 1.1	1.9
熊本県	113.4	119.0	121.7	121.9	133.2	132.3	15.6	4.9	2.3	0.2	9.2	▲ 0.6
大分県	86.7	95.3	95.7	95.1	97.4	91.7	8.1	9.9	0.4	▲ 0.6	2.3	▲ 5.8
宮崎県	83.9	90.0	88.1	89.5	86.7	87.9	7.6	7.3	▲ 2.1	1.5	▲ 3.1	1.4
鹿児島県	87.8	98.9	91.1	95.0	99.7	103.6	6.9	12.6	▲ 7.9	4.3	4.9	4.0
沖縄県	71.5	78.1	81.4	88.8	83.4	79.1	4.5	9.2	4.2	9.1	▲ 6.1	▲ 5.1

注1) 2020年11月までは実績値(都道府県CI)、2020年12月～2021年2月は予測CI

注2) 2021年2月4日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i) 景気動向指数(CI)は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県CIは、内閣府が公表するCIの作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報2019年11月号

ii) 予測CIは、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県CIを予測したものである。経済指標のほか、気象データ(気温や降水量)など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測CIは全国、地域ブロック、九州地域(九州、沖縄県、山口県)の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報2020年1月号